



【本号のトピックス】第5回研修会報告／厚労省委託契約事業の紹介／
TGA交流記／台日歯科シンポジウム開催報告／支部だより／
委員会だより／研究倫理の啓発④／第29回ECGのお知らせ／学会だより

2018年 第5回高齢者医療臨床研修会 「認知症患者の口腔機能管理と栄養管理」開催報告

研修委員会委員長 片倉 朗
同委員・幹事 潮田高志

第5回高齢者医療臨床研修会が東京支部、神奈川支部、埼玉支部、千葉支部の共催、また東京都歯科医師会、神奈川県歯科医師会、埼玉県歯科医師会、千葉県歯科医師会の後援を受け、2018年12月16日（日）「ベルサール神保町アネックス」にて開催されました。

2016年度は「高齢者の服用薬からわかること、モニタリングからわかること」、2017年度は「在宅高齢者などに対する歯科治療のリスク管理」をテーマとして高齢者への加療に際しての管理について研修会を行って参りましたが、今年度は特に認知症と栄養管理に的を絞り、「認知症患者の口腔機能管理と栄養管理」をテーマとして、国立精神・神経医療研究センター病院精神科 横井優磨先生から「歯科臨床に必要な認知症の病態と治療」、東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座 酒井克彦先生から「総合病院を事例にした多職種での食支援」、大妻女子大学家政学部 川口美喜子先生から「歯科臨床で知っておくべき要介護者のための食事と栄養管理」の3演題をそれぞれご講演いただきました。また本学会での啓発活動として、「口腔機能低下症の検査と診断」のミニレクチャーを東京歯科大学老年歯科補綴学講座 上田貴之先生からご講演いただきました。

当日は羽村 章東京支部長からご挨拶いただき講演が始まりました。各演題とも具体的な事例とともに踏み込んだ内容であり、また最初の演題で認知症の理解をしたうえで、次の演題ではそれら患者に対して口腔管理や栄養管理をどう行っていくかなど、理解しやすい構成・内容となっていました。全講演終了後はパネルディスカッション形式で質疑応答が行われましたが、会場からは多くの質問が挙がる一方、演者からもわかりやすい回答をいただき、時間を超過するまで白熱した質疑応答が繰り

広げられていました。最後は佐藤裕二理事長からご挨拶をいただき、拍手喝采のなかで幕を閉じました。また講演終了後も各演者に個別質問を行っている参加者も多数散見され、非常に有意義な研修会となりました。

今回の参加者は144名で関東を中心とした近県からの参加者が大多数でしたが、遠方からの参加もいただきました。高齢化が進むなか、認知症患者も増加の一途を辿っております。これら患者に対し、より安全で質の良い歯科医療を提供するには認知症の病態や背景、そして栄養がどのように病状にかかわるかなど、今後も必要となる知識は多くなると考えます。本研修会に毎回多くの参加をいただいていることは、最前線で活躍する多くの歯科医師や歯科衛生士が常に最新の情報を吸収し、確実な歯科医療を提供しているという現状が映し出された結果であると思われました。本研修会としては、多くの先生方への有意義な情報を発信できていることを認識できたとともに、今後も日本の医療に貢献できる、充実した内容を継続していく重責があると考えております。



講演では熱心な質疑応答が行われました

厚生労働省委託契約事業「検査方法等の実証に係る研究等一式 (口腔内の虚弱等の状態を評価する客観的スクリーニング方法等の開発・検証)」の紹介

本事業は、口腔機能低下症にいたる前の「口腔内の虚弱」などの表現で言い表される状態について、客観的に評価できるスクリーニング方法を開発することを目的とし、厚生労働省からの委託事業として日本老年歯科医学会が

特任委員会・H30 厚労省委託事業委員長 津賀一弘
行うものです。本学会の学術委員他を検討委員として、多施設共同研究で進められます。

本学会は「高齢期における口腔機能低下学会見解論文 2016 年度版一」において口腔不潔、口腔乾燥、咬合

力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下の評価方法を提唱しています。本事業ではさらに数種類の現在利用可能な口腔機能検査を加え、健常高齢者における口腔内の虚弱などの状態を早期発見する評価手法の開発を目指します。

すでに倫理申請後承認され、検討委員会で詳細な手順なども固まり、これから各施設での検査記録が始まります。結果は学術大会や誌上で報告しますので、引き続き会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



2018年12月21日に行われた会議の様子

台湾老年口腔医学会 (TGA) との交流

国際渉外委員会委員 原田和昭

日本老年歯科医学会第29回学術大会（東京）で招待したTGAの鄧延通理事長より、台湾・高雄での台湾老人口腔醫學・國際學術研討會（2018年10月18日）と中華牙醫學會學術研討會（年次學術大會）の台湾老年口腔医学会の年次大会（2018年10月19日）に佐藤裕二理事長が招待されました。

10月18日には、鄧延通理事長、佐藤理事長、Janet Yellowitz 理事長（米国老年歯科医学会）の挨拶の後、いくつかの発表と総合討論が行われました。理事懇親会では鄧延通理事長へのプラークの贈呈が行われ、台湾歯科医師会長、台湾歯科医学会会長も加わり、交流に関して意見交換が行われました。

10月19～21日は高雄展覽館で大規模な企業展示も併催されました。佐藤理事長は「高齢化社会における補綴治療の日本での経験」について講演され、会場は熱気に溢れていました。筆者も嚥下造影とCBCTについて2題の講演を行いました。本学会に関係する日本からの出席者として、小笠原 正理事、市川哲雄代議員、佐々木啓一代議員が他学会の関係で招待されていました。

懇親会は陳時中厚労大臣（台北医科大学歯学部卒業）も出席し、祝辞を述べられ、佐藤理事長にも対面され歓迎の言葉を述べられました。余興のカラオケ大会では佐藤理事長も積極的に登壇して皆さんと一緒に楽しんだ一幕もありました。

12月22～23日には、台北で台日老年歯科シンポジウムが開催され、佐藤理事長、下山和弘常任理事、深山治久前理事、岩佐康行理事と筆者が参加しました。



日・台・米の各学会理事長を囲んで（理事懇親会）



本学会 佐藤理事長からTGA 鄧延通理事長へ贈呈したプラーク

台日歯科シンポジウムが台北市で開催されました！

日本老年歯科医学会理事 岩佐康行

2018年12月22～23日、台北市において「Taiwan-Japan Dental Symposium; Oral Health Care for Elderly in 2018」が開催されました。これは Taiwan Dental Association が主催したもので、①高齢者の義歯治療（下山和弘先生、柯恩生先生）、②高齢者歯科治療における全身状態の評価（深山治久先生、陳昭榮先生）、③地域における多職種連携〔在宅歯科医療・咀嚼・嚥下〕（岩佐康行、余權航先生）、④高齢者歯科治療における政策と歯科医師の教育（佐藤裕二先生、許明倫先生）の4つのテーマについて講演と討論を行いました。これから急速に高齢化が進む台湾では、この分野に対する問題意識が非常に高く、活発な質疑応答が予定時間を超えて行われまし

た。3月には、「第1回日台高齢者歯科サミット・台湾老年歯科医学会国際大会2019」が開催されます。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。



台湾・日本の関係各位による集合写真

支 部 だ よ り

奈良支部セミナー「第5回在宅療養支援
歯科診療所の施設基準講習会」開催報告

奈良支部 小向井英記

2018年9月2日(日)奈良県歯科医師会館にて、奈良県歯科医師会・歯科衛生士会との共催講習会を開催いたしました(参加歯科医師数66名・歯科衛生士数27名)。当日は「在宅診療における終末期医療への歯科の関わり方」をテーマに、阪口英夫先生(医療法人永寿会陵北病院副院長)より、先生の多くの臨床経験を基にわかりやすくご講演いただきました。これからの在宅歯科医療の現場でも多く直面する終末期医療に必要な知識を習得でき、有意義なセミナーとなりました。



講演会の様子と講師の阪口英夫先生

広島支部セミナー開催報告

広島支部 吉川峰加

2018年9月12日(水)にサテライトキャンパスひろしまにて平成30年度広島支部セミナーを開催しました(参加者57名)。広島摂食嚥下栄養研究会との併催であり、Catriona M Steele先生(Toronto Rehabilitation Institute)にIDDSI国際摂食標準化フレームワークについてご講演をいただきました。IDDSIは文化の垣根を越えて、すべての世代を対象とし、病院・施設・在宅において使用可能である、嚥下食に関する共通言語を作成することで安全な治療・療育環境を目指すものです。安全なとろみや嚥下調整食の臨床現場における評価法について学び、活発な質疑応答も行われました。食支援に取り組む会員はもちろんのこと、参加したSTや管理栄養士らにとっても、たいへん有意義なセミナーとなりました。



関係者の皆様お疲れ様でした

岡山・香川支部共催セミナー
「病院歯科介護研究会 第21回総会・
学術講演会」報告

岡山支部 澤田弘一

岡山支部は「岡山ケア2018」を、2018年10月6日(土)に岡

山コンベンションセンター(岡山市)において共催しました(参加者131名)。少子高齢化によって、国民のそれぞれの孤立(周りに人がいない)が進むなか、孤独(わかってくれる人がいない)を対人援助により解決することによって、より上質な地域包括ケアを実現することを議論しました。内容は、「地域包括ケアシステムにおける多職種連携のあり方―対人援助職の技術評価のあり方―」と題して筒井孝子先生(兵庫県立大学大学院教授)より、「地域包括ケア～システム論から対人ネットワークへ～」と題して村田久行先生(京都ノートルダム女子大学名誉教授/NPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会理事長)よりご講演をいただきました。次に、長谷剛志先生(公立能登総合病院歯科医師)のランチョンセミナーを経て、「地域包括ケアを語る～対人援助論は地域における孤独を和らげるか?～」と題して、長久栄子先生(真生会富山病院緩和ケア認定看護師)、坂井明弘先生(地域密着型複合ケアホームよかよかん認知症介護施設経営者、社会福祉士、ケアマネジャー)、懸樋英一先生(鳥取市立病院医師)および岩佐亜生先生(江原積善会積善病院歯科衛生士)を迎えて、シンポジウムを行いました。



白熱した会場の様子

愛知支部 研修会報告

愛知支部 大野友久

2018年10月6日(土)に愛知支部および東海オーラルマネジメント研究会の主催にて、研修会「口腔機能低下症について理解を深めよう」が開催されました(参加者48名)。本会常任理事であり東海オーラルマネジメント研究会世話人代表でもある藤田医科大学医学部歯科・口腔外科学講座の松尾浩一郎教授に、実習を交えてたいへんわかりやすくご講義いただきました。口腔機能低下症は2018年4月に保険収載された新しい概念の病名であり、まだ十分な普及にいたっていないと思われますが、今回の研修会で概念・診断について理解が深まり、周知が進む一助になると思われます。



松尾先生にわかりやすくご講義いただきました

愛媛支部共催セミナー 「第22回『口から食べたい』セミナー」 開催報告

愛媛支部 高橋徳昭

2018年10月21日(日), 松前総合文化センターにて, 伊予歯科医師会主催による標記セミナー(メインテーマ「口腔機能を支える多職種連携を考える」)を開催しました。参加者は, 多職種の方々を含め371名でした。

戸原 玄先生(東京医科歯科大学准教授)に「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」, 松尾浩一郎先生(藤田医科大学教授)に「“食べる”が繋がる多職種連携オーラルマネジメント」と題してご講演いただきました。また, 地元から4名のパネラーが発表, 水口俊介先生(東京医科歯科大学教授)をコメンテーターにお迎えしてパネルディスカッションを行いました。

多職種連携がキーとなる地域包括ケアシステム推進に向けた有意義なセミナーでした。



パネルディスカッションの様子

岡山支部共催セミナー 「第9回 口腔栄養関連サービスの 推進事業公開セミナー」開催報告

岡山支部 澤田弘一

岡山支部は「第9回口腔栄養関連サービスの推進事業公開セミナー」を, 2018年10月28日(日)に岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科と共催しました。セミナーは, 死生学とアドバンス・ケア・プランニングを取り入れた要介護高齢者の尊厳を最期まで守る多職種連携を目的として, 岡山県委託事業として行われました。講演には191名, ワークショップには55名の参加をいただきました。対象者は, 地域・在宅高齢者の食を支えるすべての医療, 介護スタッフおよび学生で, 午前中の講演会は, 食介護にお困りの市民の方にも参加していただきました。午後は「ミールラウンド」のワークショップを行い, 「多職種連携ですすめる地域包括ケア」と題して福嶋啓祐先生(岡山プライマリケア学会会長)より, 「住み慣れた地域で暮らし続けるために～食の支援からみた取り組み～」と題して菊谷 武先生(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)より, 「最後まで美味しく食べるをサポートしたい! 管理栄養士として」と題して坂本八千代先生(岡山県栄養士会会長)よりご講演をいただきました。



関係者一同にて

静岡・山梨支部共催セミナー 「口腔ケアネットワーク(三島) 市民講演会」開催報告

静岡支部 栗原由紀夫

2018年12月8日(土), 口腔ケアネットワーク(三島)と山梨支部共催で市民講演会を開催しました(参加者130名)。今回は, 「肺炎は口で止められた! ～口の元気は老化の予防～」をテーマに, 米山武義静岡支部長による基調講演「誤嚥性肺炎とお口の関係」, 続いて三島中央病院・鈴木 衛医師, 訪問看護ステーションほほえみ・高橋弥生看護師, 米山歯科クリニック・杉山総子歯科衛生士, 熱海ちとせ病院・下田 静管理栄養士から, それぞれの立場で誤嚥性肺炎を予防するための取り組みと解説を行いました。身近な話題になりつつある誤嚥性肺炎と口腔ケアとの関係を理解していただく機会として, 来場者からは非常に好評でした。



三島市民文化会館にて行われた講演会の様子

岡山支部セミナー 「第10回 口腔栄養関連サービスの 推進事業公開セミナー」開催報告

岡山支部 澤田弘一

岡山支部は「第10回口腔栄養関連サービスの推進事業公開セミナー」を, 2018年12月16日(日)に岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科と共催しました。第9回セミナーと同じく, 岡山県委託事業として行われました。講演には190名, ワークショップには42名の参加をいただきました。対象者は, 地域・在宅高齢者の食を支えるすべての医療, 介護スタッフおよび学生で, 午前中の講演会は, 前回と同様に食介護にお困りの市民の方にも参加いただきました。午後は, 「ミールラウンド」のワークショップを行い, 「食べる楽しみを支える在宅医療」と題して中村幸伸先生(つばさクリニック理事長)より, 「住み慣れた地域で暮らし続けるために～食の支援からみた取り組み～」と題して菊谷 武先生(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)より, 「最後まで食べる楽しみを支えるために～医療機関から在宅へ～在宅訪問管理栄養士としてできること」と題して黒石美由紀先生(医療法人聖真会渭南病院在宅担当管理栄養士)よりご講演をいただきました。



盛り上がったワークショップの様子

委員会だより

摂食嚥下リハビリテーション委員会

委員長 戸原 玄

本学会の「摂食機能療法専門歯科医師制度」は、本委員会から提案され、理事会の承認を経て 2016 年に発足しました。本委員会では、摂食嚥下の問題に取り組める専門性の高い歯科医師を認定していきたいと考えています。本制度は、資格取得までに必要な期間を 3 年以上に設定したこと、日常臨床として摂食嚥下リハビリテーションに携わることが特徴で、資格申請のためには本学会の認定医もしくは専門医を取得していることが必要です。資格取得には、学術大会会期中の指定研修を受講し、研修機関において 1 年間以上の臨床研修を受けます。修了後に研修経験の記録や症例などを報告し、確認テストを受け、テスト合格者のうち学術大会でのポスタープレゼンテーションをパスした方に、理事会の承認を経て認定証が交付されます。

本制度は、社会・医療事情に対応できる摂食嚥下リハビリテーションにかかわる歯科医師養成システムの構築を目指しているため、ややハードルの高い資格ではありませんが、2018 年度は 18 名の会員が研修を終え、テストとプレゼンテーションに合格されました。これまでに合計 72 名の会員が資格を取得されています。また実地研修受け入れ機関は、発足時 5 施設であったのが 2018 年度には 23 施設にまで拡大しています。本制度は卒後教育の充実に取り組むとともに、資格取得者が各大学、病院歯科、地域歯科などで摂食嚥下の臨床を行い、結果として全国的な当該分野の卒前教育の充実を図ろうとするものです。

この資格は今後より重要なものになっていきますので、奮って取得を目指していただけたら幸いです。

学会間連携委員会

委員長 弘中祥司

このたび、学会間連携委員会担当理事となりました、昭和大学の弘中祥司です。どうぞよろしくお願い申し上げます。これまで学会間連携委員会に所属していなかったのに、いろいろな方に相談しながら運営させていただいております。行き届かない点も多いと思いますので、ご指導のほど、お願い申し上げます。

活動内容として、昨年度まで高井良招先生が担当していた下記の関連学会の作業部会の担当者について検討し、交代していただきました。

「抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」WG（日本有病者歯科学会）を岩渕博史先生に、「歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン」WG（日本歯科麻酔学会）を深山治久先生にお願いいたしました。両方とも、本学会にかかわる大事なガイドラインだと思いますので、ぜひ 2 人の先生方には会員へのフィードバックをお願いしたいと思っています。

私自身、日本障害者歯科学会の理事長であり、日本小児歯科学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の理事も兼務していますため、違う畑の様子はよく存じております。また、口腔機能発達不全症の担当でもあるため、口腔機能低下症とのコラボレーションも視野に入れておきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

研究倫理の啓発④ ～臨床研究法について～

倫理委員会副委員長 大野友久、委員長 竹島 浩

2018 年 4 月 1 日から臨床研究法が施行されました。臨床研究法はその名の通り、臨床研究を規制する法律です。臨床研究は内容によって右の 5 つに分類されます。①は臨床研究法とは異なる法律で規制されています。②と③は特定臨床研究と呼ばれる研究になり、さまざまたいへんな手続きが課せられます。特定臨床研究はごく簡単に書くと、製薬会社等からの資金提供を受けた、あるいは未承認薬や適応外医薬品等を使用した臨床研究のことです。違反すると罰則があります。④については公的研究費などによる研究で、承認の範囲内の医薬品等を使用した研究です。罰則はありませんが、臨床研究法による実施基準を遵守する努力義務が課せられます。⑤については法律の対象外になります。学会員のほとんどが⑤に該当する研究を実施していると思われそうです。しかし、通常の診療を越え、研究目的で作為的に治療方法などを患者によって変えて比較する研究は、④に区分されますので注意が必要です。ご自身の研究がどの分類に該当するか、一度確認するとよいでしょう。

臨床研究 分類

- ①治験（医薬品販売前の、販売に向けた有効性・安全性の検証に関する臨床研究）
 - ②製薬企業等から資金提供を受けた医薬品等の臨床研究
 - ③未承認・適応外の医薬品等の臨床研究
 - ④特定臨床研究（②と③）を除く医薬品等の臨床研究
 - ⑤手術・手技の臨床研究、医行為を伴わない介入研究、観察研究等
- *②～④が「臨床研究法」の対象になります。

29th Annual Congress of the European College of Gerodontology (ECG 2019) Joining force to improve (oral) health, 15-17 May 2019, Amersfoort, The Netherlands

2019 年 5 月、オランダ（アメルスフォールト）にて、第 29 回 ECG（ヨーロッパ老年歯科医学会）学術大会が開催されます。今回は【Joining Force to Improve (Oral) Health】を主題とし、歯科のみならずさまざまな分野から、包括的な高齢者ケアの実現を目指した多職種連携強化の取り組みや研究成果が議論される予定です。また交流協定締結により、2019 年度から本学会会員は

国際渉外委員会委員/ ECG Councillor 多田紗弥夏

ECG 会員価格が適用され、少し参加しやすくなりました。ECG-JSG セッション企画も計画進行中です！ ECG ならではのアットホームでフレンドリーな雰囲気の中、学びを深めに来ませんか？ 詳細は日本老年歯科医学会ウェブサイト*をご覧ください。皆様からの奮ってのご参加をお待ちしております。

(*<http://www.gerodontology.jp/committee/001550.shtml>)

学会だより

「口腔機能低下症」患者向けパンフレットが完成しました

学会ホームページよりダウンロード可能です。歯科医師の患者への説明時にご活用ください。



2018 年度老年歯科専門医新規認定の報告

2018 年 12 月 7 日付け理事会にて、9 名の本会認定医が老年歯科専門医に認定されました。

今後のニュースレターにて「専門医認定者の声」としてご紹介いたします。

認定医の皆様にはぜひ、日々の臨床と研究活動の励みにしていただき、来年度老年歯科専門医への申請をお待ちいたしております。

第 30 回学術大会参加登録受付中!! ～2019 年 4 月 30 日（火）正午まで～

参加登録および宿泊手配につきましてはホームページでご案内しております。

本学術大会は、日本老年学会を構成する 7 学会での合同学会です。合同シンポジウム全 14 テーマのうち、本学会からは 10 のテーマのシンポジウムに演者が出て、積極的に他学会との交流を図り、「食べる力を支える老年歯科医学」のテーマに沿って、歯と口腔機能の重要性についての認識を深める企画が準備されております。

皆様の奮ってのご参加をお待ちいたしております。



募集事業のご案内

下記につきまして、募集要項が学会ホームページに公表されております。

いずれも 2019 年 2 月 28 日（木・消印または発送有効）が応募期限です。

・2018 年度優秀奨励論文賞（ライオンアワード）の候補者

- ・2019 年度日本老年歯科医学賞（渡邊郁馬賞）の候補業績
- ・2019 年度老年歯科医学研究助成
会員の皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

第 6 回高齢者医療 臨床研修会を開催します! 「認知症患者の口腔機能管理と栄養管理」

日 時: 2019 年 3 月 24 日（日）13:00～17:30

場 所: TKP ガーデンシティ博多

★詳細は、学会ホームページをご参照ください。



第 6 回歯科衛生士関連委員会セミナー 来年度は『口腔機能評価の実践』 （実習コース）です!

日 時: 2019 年 7 月 15 日（月・祝）

会 場: フクラシア品川クリスタルスクエア

（JR 品川駅港南口徒歩 8 分） 事前申込制

★詳細は順次、学会ホームページに掲載します。

支部セミナーのご案内

★詳細は、学会ホームページでご確認ください。

・栃木支部共催セミナー

「第 10 回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会」

日 時: 2019 年 2 月 10 日（日）13:00～16:00

会 場: 小山市立文化センター

主 催: 北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会

・千葉支部主催セミナー「第 3 回公開研修セミナー」

日 時: 2019 年 2 月 10 日（日）13:00～16:30

会 場: 千葉県歯科医師会館 2F ホール

主 催: 日本老年歯科医学会 千葉支部

・神奈川支部・山梨支部 合同セミナー

日 時: 2019 年 4 月 21 日（日）10:00～16:00（予定）

会 場: 神奈川歯科大学附属病院 12F 大講堂

主 催: 日本老年歯科医学会 神奈川支部・山梨支部、
日本口腔検査学会（共同開催）

編集後記

新しく広報委員となりました高知県開業の織田展輔と申します。自分を含めた開業医の口腔機能低下症に対する戸惑いを日々見聞きしております。2018 年 4 月に保険導入され、理解や対応が追いついていない現状ではないでしょうか。今回完成した「口腔機能低下症」患者向けパンフレットなどを用いて、学会として積極的なアプローチが必要であると考えております。（織田展輔）



発行人 佐藤裕二

編 集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内

電 話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341

E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp